

ファンティックとコルデンホフ、中国でトップ6を確保。



予想外の気候変動の影響で決勝日を1日に短縮して行われた中国 GP。ファンティック・ファクトリーレーシング MXGP のグレン=コルデンホフはプレミア・クラスで6位を記録し、MX2 のカイ=カラセメーカーもトップ10 まであとわずかに迫る結果を残した。

ファンティック・ファクトリーレーシング・MXGP

中国 GP は日曜日と月曜日の2日間のレースが予定されていたが、台風接近の影響を受け、1日に短縮したスケジュールで開催された。予選レースはキャンセルされ、ポール・ポジションとゲートピック（スタート位置

を選択するための順位) のためだけの計時予選が 1 回行われた。ファンティック・ファクトリー・レーシング MXGP のグレン=コルデンホフとブライアン=ボガスはそれぞれ 9 位と 10 位を獲得。わずか 1.4 秒差の中に 10 台がひしめき合う予選結果は、プレミアクラスならではの接近戦が予想された。

XXF450 の俊敏性を生かして素晴らしいスタートを切った「ザ・ホフ」は第 1 レースのオープニングラップで 5 位にマシンを滑り込ませると、その後レースの大半を 7 位走行で冷静にペースをつかみ、終盤、猛チャージを仕掛けて再びマシンを 5 位に持ち上げることに成功した。再びその強さを見せつけたファンティックとコルデンホフは第 2 レースに臨んだが、スタートに失敗して転倒。しかしあきらめずに再スタート後も着々と順位を上げ、フィニッシュラインを 8 位で通過、総合 6 位に入賞となった。

ブライアン=ボガスはここ上海インターナショナルオフロードサーキットでは予選から良いペースをつかみつつあったが、決勝ではいくつかの不運もあって 14 位でレース 1 を終了。レース 2 ではトップ 10 を走りながらも 4 周を残してレースを中断せざるを得なかったものの 15 位と記録され、14/15 の総合 15 位でポイントを獲得することとなった。

コルデンホフは MXGP 総合ランキング 6 位、ボガスは 10 位で最終戦、スペインを迎えることになる。



グレン=コルデンホフ：体調が悪い一日だった。時差ボケもあって 2:30 に目が覚めて、その後眠ることができなかったんだ。朝一でクラッシュもして、どうも波に乗れていなかった。でもレース 1 のスタートは悪くな

かったから、ペースを保つことに集中したんだ。何か特別なことを仕掛けずに、しかしきっちりと5位をキープすることに成功した。4位からもそう離されていたわけじゃないから、これはかなりポジティブな結果といっていいただろう。レース2のスタートは今一つで、おまけに目の前のライダーがクラッシュして避けることができなかった。ほぼ最後尾から、それでもできることは全部やり切ったの8位フィニッシュだ。もう一つ順位を上げれば総合5位だったんだけど、惜しくも6位という結果になってしまった。求めていた結果ではないけれど、前を向き続けるしかないからね。最終戦では5位以内、出来れば表彰台に上って今シーズンをまとめ上げたいところだね。

ボライアン=ボガス：ここ数週間のレースと比べると、調子は良かったよ。バイクに乗ってもいい感じだったし、でも結果として厳しい週末になってしまった。レース1ではゴーグルを交換するために止まらざるを得なくなり、これは高い代償となってしまった。レース2では8位を走っていたんだけど、マシンに何か問題があったみたいだ。でももう解決しているし、最終戦では最高の結果を出せるように頑張るよ。



ファンティック・ファクトリーレーシング MX2

高音多湿の上、ぎりぎりになってのスケジュール変更で、中国 GP は非常に厳しいレースとなった。デビッド=ブラセラスはそれでもいい走りを見せて計時予選で10位に。カイ=カラセメーカーは1周目の失敗を回復するのに手間取って14位で予選を終えた。

レース1、ブラセラスはスタートが決まってトップ10に食い込むと、ポジションを維持しながらの我慢のレースでリザルトは11位に。カラセメーカーはさらに厳しいスタートで出遅れたものの、食い下がっての14位となった。

ファンティック XXF250 に乗る二人のファクトリーライダーは、レース2ではスタートから7位-8位を走行。ブラセラスは15分ほどポジションをキープしたまま前をうかがっていたが、クラッシュしてリタイヤの憂き目にあってしまった。一方カラセメーカーは手堅い走りで10位に。総合11位と、もう一つでトップ10に手が届くところでレースを終えることになった。



カイ=カラセメーカー：中国は1日のレースになってしまった。トラックはハードパックでハイスピード。予選ではいいラップを刻むことができなかったよ。でもレース1では13位と徐々に調子は上がってきていたんだ。レース2はいいスタートを切れて、レースのほとんどをトップ8で走ることができた。最後の3周でポジションを落として10位になったけど、悪くない結果だと思うよ。2週間後の最終戦に向けてチームとともに全力で挑むよ。

デビッド=ブラセラス：今回のGPのフォーマットはいつもとは全く違うことになって、タイムスケジュールもタイトでやり直しが効かない結果になってしまった。でもフィーリングは悪くなくて、レース1では10位からのスタートで終始トップ10を争いながらの11位だったんだ。レース2はスタートも決めて7位に上がり、そのポジションで15分ほど走ることができた。ところが岩にヒットしてコースアウトし、バイクはダメージを負うし僕自身も足をやられるしで、レースを続けることができなかったんだ。トップ10圏内でレースを終える自信があっただけに、本当に残念な結果になってしまったよ。でも最終戦は僕のホームGP、スペインだからね、いい結果のために頑張るさ。

